

## 一般社団法人山口県医師会平成25年度第22回理事会

平成26年2月20日(木) 午後5時30分～午後7時40分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・田中・山縣・林常任理事、武藤・沖中・加藤・藤本・香田・今村・中村・清水理事、山本・武内・藤野監事

### 協議事項

#### 1 第131回日本医師会臨時代議員会質問について

役員から提案のあった2題について協議した。

#### 2 平成26年度事業計画(案)・行事予定(案)について

事業計画(案)及びそれに伴う行事予定(案)について協議した。

#### 3 平成26年度予算(案)について

事業計画(案)に基づき、予算編成を行い協議した。

#### 4 役員等の報酬の取扱について

一般社団法人移行に伴い、役員の任期が6月に開催される定例代議員会をもって新旧が交代することから、この期間における役員報酬の支弁に係る取扱方針について協議した。

#### 5 山口大学医学部医学科高度学術医育成コースの奨学金について

本奨学金に対する県医師会の助成については、平成23年4月28日開催の第166回定例代議員会において、「奨学金の総額の1割を限度額として助成することとし、毎年度の助成額は、研修医の養成状況等を確認し、医師会当初予算にあわせて検討すること」としている。当初の育成計画では、法医学を中心とする基礎系分野の人材を育成するため、毎年2名ずつの19名に対し奨学金を貸与することにしていたが、平成24・25年度の奨学金貸与を希望する学生がいない状況になっているので、平成24年度に引き続き平成25年度分助成金も交付しないことに決定した。

なお、山口大学医学部長から、今後もさらに広報活動に力を入れ、奨学金基金を有効に活用する旨の意思表示がなされていることから、平成26年度分については一応予算を計上して動向をみることにし、平成26年度の実績がない場合は、以降の予算計上は行わないことに決定した。

## 6 産業保健総合支援センター（仮称）所長等の推薦について

現在実施している事業場の産業保健活動に係わる産業保健推進センター事業、メンタルヘルス対策支援事業、地域産業保健事業の三事業を統合し、来年度より「産業保健活動総合支援事業」として実施されることになり、都道府県ごとに産業保健総合支援センター（仮称）を設置するとともに、県内に地域窓口を設置することになった。

山口労働局長より、この新事業における産業保健総合支援センター（仮称）所長と運営主幹の推薦依頼があり、所長には現産業保健推進連絡事務所代表の赤川悦夫先生、運営主幹には県医師会の担当常任理事を推薦することが決定した。また、各地域窓口（通称：地域産業保健センター）代表及び地域運営主幹、コーディネーターについては、各地域産業保健センターに推薦依頼を行っており、報告があり次第、併せて山口労働局に対し推薦することにした。

## 報告事項

### 1 社保・国保審査委員連絡委員会（2月6日）

10項目の議題について協議した。協議結果は本号（ブルーページ）に掲載。  
(萬)

### 2 男女共同参画部会第4回理事会（2月8日）

3月2日（日）に山口グランドホテルにおいて開催する今年度の総会及び来年度の部会活動について協議した。（中村）

### 3 男女共同参画部会育児支援 WG・保育サポーターバンク運営委員会合同委員会（2月8日）

3月9日（日）に本会において開催する保育サポーター研修会及びサポーター登録辞退希望者の対応について協議した。（今村）

### 4 日医医療情報システム協議会（2月8～9日）

兵庫県医師会の運営担当により、『『ビッグデータ』？誰のため、何のため・・・～日医認証局利用による確かな医療情報交信を基本に～』をテーマとし、都道府県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会を兼ねて開催された。8日は、(1) 日医医療 IT 委員会セッション～平成 24-25 年度委員会答申 「IT を活用した地域医療連携の実践について」～、(2) 地域医療連携セッション～地域医療連携 ICT 化の全国動向とその課題について～、が行われた。9日は、(3) ORCA セッション～ORCA・日レセの主流化宣言～、(4) 事務局セッション～災害等緊急時医師会連絡システムの構築について～、(5) インターナショナルセッシ

ョン～世界での医療 IT 化の進展と医療への影響・個人情報保護等について～、  
(6) メインシンポジウム「クラウド・ビッグデータ時代の医療 IT 化の進路」  
が行われた。来年度は、沖縄県医師会の運営担当で開催される。(林、藤本)

5 第 57 回体験学習「眼科」(2 月 9 日)

「日常診療で役立つ眼疾患」をテーマに山口大学医学部眼科の協力により開催した。午前中は「最近目が見えにくいですが・・・」、「この薬は緑内障患者には駄目と添付文書に書いてあるけど・・・」、「最近黒いものが飛びますが・・・」の眼科以外の医師にわかりやすい演題での 3 講義が行われ、午後からは、眼底写真撮影・読影の実習が行われた。(沖中)

6 山口県緩和ケア医師研修会(2 月 9 日、2 月 11 日)

カリキュラムに則り、今年度 2 回目の研修会を開催した。受講修了者 13 名。  
(田中)

7 第 84 回山口県医療審議会医療法人部会(2 月 10 日)

医療法人 4 件の設立認可及び 3 件の解散認可について協議した。(小田)

8 第 2 回山口県医療審議会(2 月 10 日)

山口大学医学部附属病院の増床、関門医療センター及び下関厚生病院の地域医療支援病院の名称使用、岩国医療センターの災害拠点病院の指定等について協議を行った。(小田)

9 第 58 回体験学習「第一内科」(2 月 11 日)

「腹部エコー診療の実際」をテーマに山口大学医学部第一内科の協力により開催した。「超音波検査で臨床に使える技術ー肝臓を中心にー」、「消化管エコーの基礎と可能性」、「胆・膵領域描出のコツと pitfall」の 3 題の講義及び実習が行われた。(清水)

10 第 118 回(第 3 回)地域医療計画委員会(2 月 13 日)

山口県地域医療推進室より、病床機能報告制度及び地域医療ビジョンについて説明があった。また、顔と顔の見える連携づくりとして実施している「糖尿病診療研修会・症例検討会」の開催状況について報告を行った。(弘山)

11 第 3 回山口県糖尿病対策推進委員会(2 月 13 日)

平成 25 年度事業の報告及び平成 26 年度事業について協議した。(弘山)

12 新規個別指導（2月13日）

診療所6機関について実施され、立ち会った。（萬、清水）

13 三師会懇談会（2月14日）

昭和31年から、山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会により毎年開催しており、今年度は本会引受で開催した。山口県新産業振興課の眞柳秀人課長による講話「全国をリードする『医療関連産業育成・集積戦略』について」の後、情報交換を行った。（河村）

14 第2回日医『2020.30』推進懇話会（2月14日）

「医療保険等の諸問題」について松原謙二副会長、「医療事故調査制度」について高杉敬久常任理事、「予防接種 定期接種化に向けて」について小森 貴常任理事がそれぞれ説明した後、質疑応答が行われた。（今村）

15 顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会（2月15日）

本年度に発生した事案及び係争中の事案について各弁護士から経過報告があり、今後の検討を行った。（林）

16 第131回山口県医師会生涯研修セミナー（2月16日）

鳥取大学医学部の武中 篤教授による「前立腺癌に対する検診と先進的外科治療」、医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団の最上紀美子理事による「医薬品のリスクマネジメントについて」の講演が行われた。（沖中）

17 勤務医部会総会・シンポジウム（2月16日）

総会において、平成25年度事業報告、平成26年度事業に対する要望、役員改選について審議し、その後、「業務分担による医師の過重労働の軽減ードクターズクラークの活用についてー」をテーマにシンポジウムを行った。（中村）

18 日医母子保健講習会（2月16日）

午前「成育基本法」及び「産科医療補償制度」についての講演が行われた。午後は、「成育医療をめぐる課題：わが国における子育て支援」をテーマとしたシンポジウムが行われ、①「実効性ある少子化対策をめざして」読売新聞解説部の榊原智子氏、②「胎児治療について」国立成育医療研究センター周産期センター長の佐合治彦先生、③「乳幼児健診の標準化：1ヶ月健診への小児科医の関与を含め」山口県宇部市の金子小児科院長の金子淳子先生、④「思春期の子

ども・若年成人への健康教育」総合母子保健センター愛育病院産婦人科部長の安達知子先生の講演及びディスカッションが行われた。なお、「成育基本法成立に向けた議員連盟」会長の河村建夫衆議院議員、同連盟事務局長の羽生田 俊参議院議員が出席し、挨拶をされた。(今村)

#### 19 在宅チーム医療を担う人材育成事業地域リーダー研修

(1月26日・2月16日)

山口県主催により、在宅医療を担う人材の知識・技術の向上やチーム医療を進めるため、地域で在宅医療を担う人材を養成するための多職種協働研修を県内8医療圏において実施しており、1月26日に「周南」、2月16日に「山口」で開催された。宇部協立病院の立石彰男副院長と講義及びグループワークの講師を務めた。(弘山)

#### 20 第5回山口刑務所視察委員会(2月17日)

非公開の委員会後、事務局との協議が行われた。(萬)

#### 21 山口県医療保険関係団体連絡協議会(2月18日)

山口県医師会の引受で開催し、各団体(機関)の現状、懸案事項等の報告後「配置医師に関する診療報酬上の制約について」等の3議題について協議を行った。(萬)

#### 22 糖尿病診療研修会・症例検討会「岩国地区」(2月18日)

糖尿病における連携体制を構築するため、顔の見える関係づくりを進めることを目的として県内二次医療圏ごとに研修を実施しているものであり、山口大学医学部附属病院第三内科の竹田孔明講師による基調講演「糖尿病治療のエッセンス」及び症例検討会・事例発表が行われた。(藤本)

#### 母体保護法指定審査委員会

##### 1 母体保護法による指定申請について

済生会下関総合病院より1名の申請があり、承認された。